

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 岐阜県版サステイナブル・ツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,150 千円 (前年度予算額：4,670 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,670	4,670	0	0	0	0	0	0	
要求額	2,150	0	0	0	0	0	0	0	2,150
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズム（持続可能な観光）の推進が不可欠である。

そこで、サステイナブル・ツーリズムに積極的に取り組む地域として、UNWTO（国連世界観光機関）が推進するINSTO（International Network of sustainable Tourism Observatory）に加入し、本県独自の指標に基づく取組を進めるとともに、県内各地で持続可能な観光地域づくりが進むよう、普及・啓発を図る。

(2) 事業内容

- ・INSTO年次レポートの作成
- ・地域関係者、庁内関係部局との情報共有、意見交換
- ・UNWTO、観光庁との情報共有、意見交換 等

(3) 県負担・補助率の考え方

国の重要政策に位置付てられる「サステイナブル・ツーリズムの推進」は、県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	932	専門家交通費、職員出張旅費
委託料	1,218	委託費
合計	2,150	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

(2) 後年度の財政負担

県が率先して実施しすべき事業であり、次年度以降も継続

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

世界から「選ばれる旅先」となるため、サステイナブル・ツーリズムに積極的に取り組む地域としてアピールすることで、観光誘客及び観光消費額の増加につなげるとともに、県内各地での持続可能な観光地域づくりを促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額		1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)		3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	<p>随時、UNWTOや観光庁と協議しつつ、INSTO加入に向けた各種レポートの作成を行った。あわせて、地域関係者や庁内関係部局との情報共有、合意形成を図った。</p> <p>指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6 %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	世界中でSDGsへの関心が高まっており、本県が世界から「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムの推進は不可欠。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	R4中のINSTO加盟申請をめざし、各種レポートの作成、地域関係者や庁内関係部局との情報共有、合意形成を図った。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	(一社)岐阜県観光連盟が実施するDMO会議の活用や、清流の国づくり推進部SDGs推進課との合同会議の開催など、効率的に意見共有や合意形成を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光地域づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 持続可能な観光地域づくりに向け、指標に基づくモニタリングを継続するとともに、現状分析・課題抽出・改善のPDCAサイクルを回す。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】